



signia

Life sounds brilliant.

シグニア エクスぺリエンス
Signia perience

テクニカルガイド

2021年2月版

販売店様専用

- ・ 新開発 Xセンサー搭載
- ・ 100シーン自動対応
- ・ こもった声も浮き立つ(マスク声)
- ・ らくらく補聴器

Signia Xperienceの4大特長

- ①新開発 Xセンサー搭載
- ②100シーン自動対応
- ③こもった声も浮き立つ(マスク声)
- ④らくらく補聴器

今までにないSignia Xperience

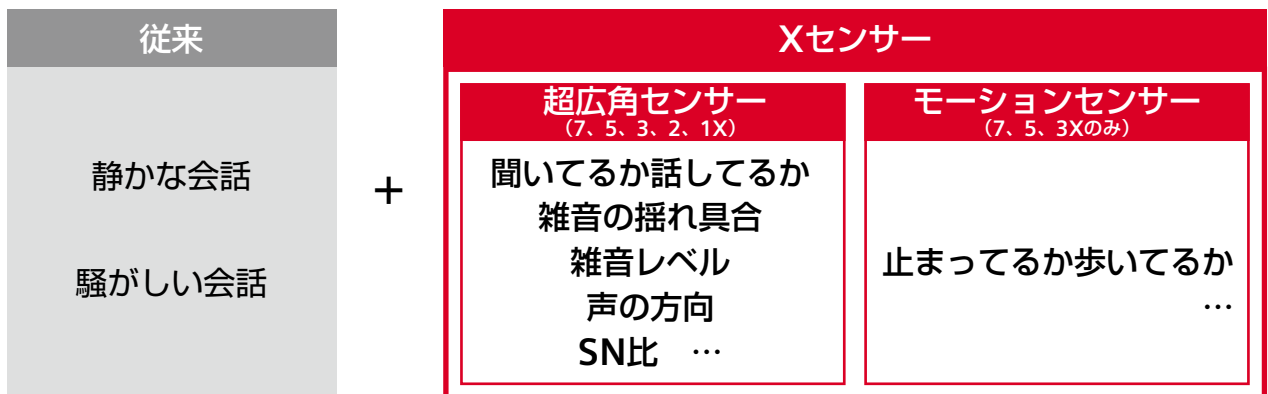
1 Xセンサー

XはNxのマイクや自声OVPを踏襲した上で
新開発のXセンサーが処理精度を高めて毎日のシーンがより快適に聞こえます。



2 100シーン自動対応

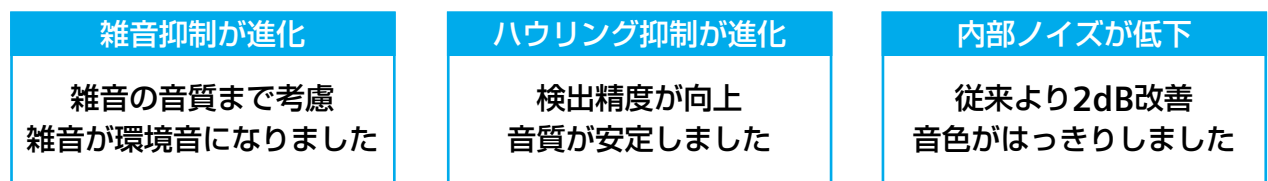
これまでの環境認識の基本は静か／うるさいの2シーンでした。
Xセンサーは400もの設定から100シーンに自動対応します。※



※ 100シーンは7/5/3X。2/1Xは50シーンです。

3 声が浮き立つ

さらに基本性能が向上。よりきれいで自然に聞こえます。



世界初、Xセンサーで
いつでも、どこでも、かつてない臨場感。
あなたの新しい挑戦を応援します



100シーン自動対応

周りの環境



超広角センサー

周囲360°の声や物音を常に分析、
400もの設定から最適な
音質に自動で変化します

これまで基本シーンは2つでした



静かな会話



騒がしい会話

このようなシーンで
力を発揮します

あなたの動き



モーションセンサー

座れば前方フォーカス、
散歩中はワイドに、
聞こえを自動で最大化します

100シーンの例

① お出かけ

車の通る音、ゴルフ、ジョギング、スポーツ、海岸、山、買い物、散歩、乗馬、バス、外食

② 集まり

ホテル、会議、公園、居酒屋、レストラン、ドライブ、団らん

③ 静か

病院、リビング、車いす、セミナー、コンビニ、郵便局、図書館、こもった声、マスクの声

④ 趣味

音楽、観劇、映画、テレビ、習い事、カラオケ、スマホ

100シーン動作の一例

360°の音



テレビ



買い物

一対一の会話



仕事



こもった声

複数人の会話



食事



会議

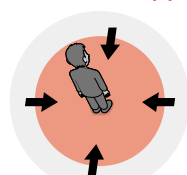
動いている時



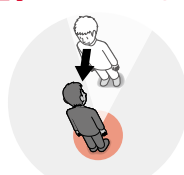
散歩



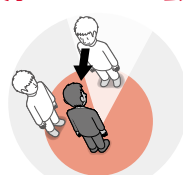
ジョギング



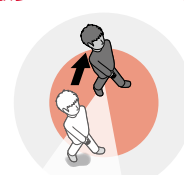
呼び込みの声や臨場感の
あるシーンに、360°の音
を自動でクリアにリアルに



騒がしくても、聞きづらい
こもった声も、より聞こえ
やすい



360°の音をクリアに捉え
ながら雑音は自動でしっかり
抑える



動いている時も、今まで難し
かった隣同士の会話が
よりわかるように自動調整
(7/5/3Xのみ)

Connexxの新機能 (バージョン9.2)

1 Xセンサー(雑音抑制と指向性の統合調整) Xperience限定



ご注意: Xセンサーは指向性と雑音抑制の統合調整なので静かな店内では左右に振っても差が出ません。再調整で動かします。

- X専用の新画面です(他機種には出ません)
- どの処方式でも、片耳でも働きます
- 雑音抑制と指向性の統合調整
- 標準と耳鳴りPで動作(外せません)

周囲重視 ← バランス → 会話重視

再調整:もっと音量感 納品時:真ん中 再調整:もっと静かに

入力レベル: 75dB (できるだけかけない) ← 雑音抑制&指向性 → 55dB (より早くかける)

ヒント スライダーはXセンサーの動作閾値を調整しています。早くかければ会話重視、できるだけかけないようにすればより周囲の音が入ります。

ヒント 7/5/3Xは同じ100シーンですが2/1Xはモーションセンサーがないため対応シーン数は7/5/3Xより少ない50シーンです。なおch数が多いほど雑音抑制や指向性が細かく働くので上位クラスほど静かになります。

2 雑音&指向性(通常はここは触らずにXセンサーで調整します) Xperience限定



- 雑音抑制と指向性が合体
- X専用の新画面

例外:煩さに敏感でXセンサーが右端でもまだ静かにしたい時に最大にします

例外:古い器種の買い替えてXセンサーが左端でも物足りない時にオフにします

このままがおすすめです。変えるとXセンサーの働きが狭くなります。代わりにXセンサーを調整します。

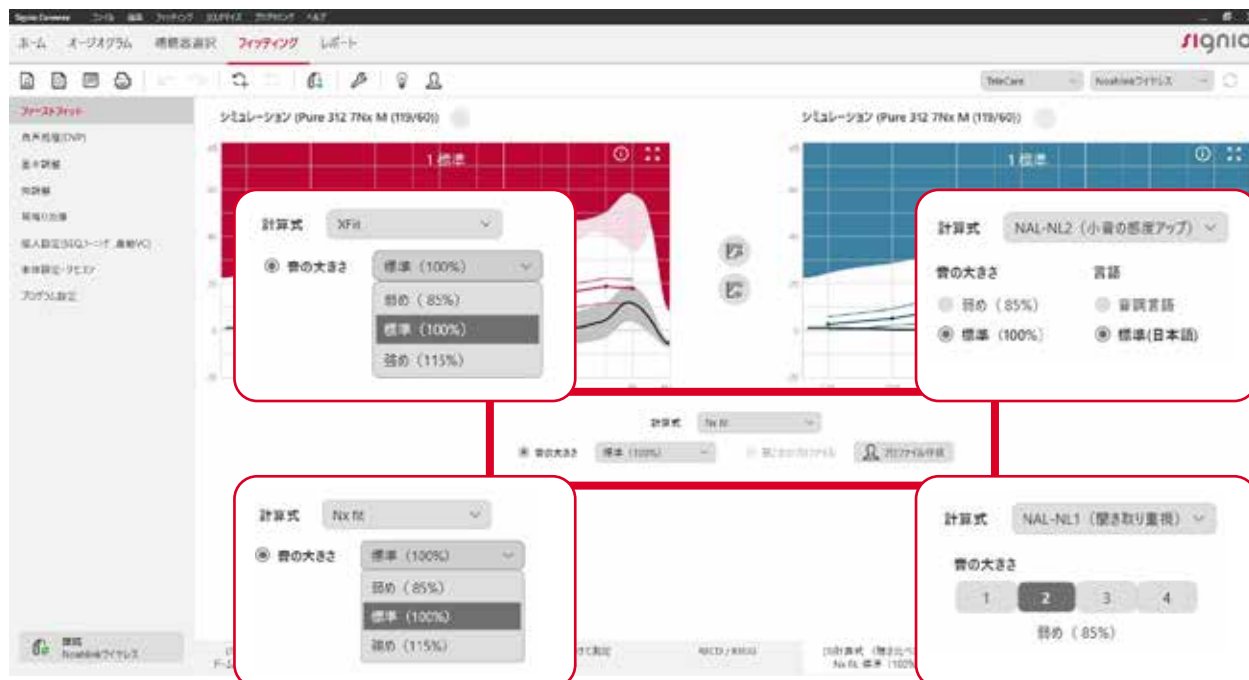
注)シミュレーションでは調整できません

ヒント 雑音抑制の大/中/小の効き具合は概略この通りです。



3 ファーストフィット 全器種

すべての器種で目安の%表示で分かりやすくなりました



4 Bluetooth音質の向上 Xperience限定

Xはストリーミングのオフセットを見直してファーストフィットのBluetooth音質を改善しました。オフセットはドーム選択に合わせて自動で変わります。



ヒント 両耳風雑音抑制とパワーエンハンス
Xでは表示されませんが内部で常時動いています。
今までよりも調整を一手間省略できます。



商品情報

	Stylecto X(7,5,3,2,1)	Pure Charge&Go X(7,5,3,2,1)
一言で	ニューデザイン レシーバー交換 簡単充電	小型(312サイズ) 長持ち フタつき充電(7/5/3用)
Pic		
スペック	●交換できるミニレシーバー2.0 S/M/P 長さ0-3 ●内部ノイズ 2dB改善 ●カラー 5色(2X/1Xは2色)	●本体サイズ 312型と同等 ●バッテリー 10%長持ち23時間 ●内部ノイズ 2dB改善 ●カラー 10色
New	●世界初!丸ごとワイヤレス充電 ●Qi 世界規格で簡単* ●ツヤツヤ爪折れなし ●抜き差し簡単USB-Cケーブル	●一台でボリュームの上げ下げ可能 ●フタつきで埃たまらず(7/5/3) ●点滅表示は“LED”でより鮮明に ●HPモールドを収納できる
おすすめユーザー	メガネをしている方 充電ケースを持ち運びたい方 ケーブルの抜き差しが面倒な方 ⇒ほぼ全ての方におすすめ	高級感のあるデザインがお好みの方 置くだけ充電+フタつき充電器で 簡単に清潔感を求める方 ⇒幅広い層の方におすすめ

*Qiワイヤレス充電パッドはユーザー様でご用意ください。5W、10W、15W他が市販されていますがどれでも使えます。充電時間は変わりません。

仕様一覧

項目	Stylecto X	Pure Charge&Go X
製品画像	 レシーバー交換可 ワイヤレス充電	
クラス	7X/5X/3X/2X/1X	7X/5X/3X/2X/1X
Bluetooth	○(全クラス)	○(全クラス)
CROS対応	—	○(3X以上)
カラー	5色(2/1は2色)	10色
適合聴力	S:~60dB M:~75dB P:~90dB	S:~60dB M:~75dB P:~90dB HP:~100dB
レシーバー交換	○	○
補聴器充電時間	4時間(ケースも空なら計7時間)	4時間
使用可能時間	19時間	23時間
ケース充電時間	3時間(Qiは5時間) ※ケースへ約3日分蓄電	—
ワイヤレス充電 (Qi充電)	○	—
充電方式(補聴器)	接触式	非接触
ロッカースイッチ	なし	上下ボタン
電池交換目安	5年	3年~5年
調整機器	全てNoahLink Wireless専用	

	Pure 312 X(7,5,3,2,1)	CROS X
一言で	Xセンサー搭載 電池式	カラー10色 電池式と充電式
Pic		
スペック	●電池寿命 80～90時間 ●内部ノイズ 2dB改善 ●カラー 10色	●電池寿命 60時間 ●充電タイプ 23時間 ●カラー 10色
New	●Xセンサーで100環境自動対応 ●機能やきこえは充電タイプと同じ	●3X以上に使えます ●おすすめは充電タイプ! ●Xセンサーで100環境自動対応
おすすめユーザー	空気電池に慣れている方 万一の災害時に電池式が安心な方 (充電でも、電気は水道ガスより早く 復旧すると言われています。)	片耳が高～重度の方 片方はもう聞こえないと諦めてる方 両耳装用すると片方は雑音にしか 聞こえない方

■仕様一覧

項目	Pure 312 X	CROS Pure	
		CROS Pure 312 X	CROS Pure Charge&Go X
製品画像			
クラス	7X/5X/3X/2X/1X	—	—
Bluetooth	○(全クラス)	○	○
CROS対応	○(3X以上)	○(3X以上)	○(3X以上)
カラー	10色	10色	10色
適合聴力	S:~60dB M:~75dB P:~90dB HP:~100dB	—	—
レシーバー交換	○	○	○
補聴器充電時間	—	—	4時間
使用可能時間	80～90時間	60時間	23時間
ケース充電時間	—	—	—
ワイヤレス充電 (Qi充電)	—	—	—
充電方式(補聴器)	—	—	非接点
ロッカースイッチ	上下ボタン	上下ボタン	上下ボタン
電池交換目安	—	—	3年～5年
調整機器	全てNoahLink Wireless専用		

sDemoを使ったランクアップデモの方法

店頭で効果的なランクアップデモを2つご用意しました。デモレンタルと合わせてお使いください。

1 Tシステム

手早くクラス比較
プログラム切り替え

2 シグニアアプリ

納得性が高いクラス比較
指向性切り替え

1 Tシステムでデモ 準備の手順（弊社販売店様サイトの知ったく資料に説明の動画があります。）

用意：Tシステムデータ、Xのデモ器

手順：Tシステムデータをインポート→顧客の聴力でファーストフィット→デモ

※ここは初めに1回だけ行います

①PCにTシステムデータ一式をコピーします。Connexxから起動しているPCもNoahから起動しているPCも、どちらも画面左上のファイル>インポート>コピーしたTシステムデータを指定します。

（図はConnexxの場合です）



②Tシステムデータは6種類ありますが、デモ器の形状とNoahの有無に合ったものを指定します。

	デモ器の形状	Tシステムデータ名
スタンドアローン Noahなし (普段Connexxを起動)	Pure312X	01_X試験Tシステム_PureCxx
	C&G X	01_X試験Tシステム_C&GCxx
	Styltto X	01_X試験Tシステム_StylCxx
Noahを使用 (普段Noahを起動)	Pure312X	01_X試験Tシステム_Pureノア
	C&G X	01_X試験Tシステム_C&Gノア
	Styltto X	01_X試験Tシステム_Stylノア

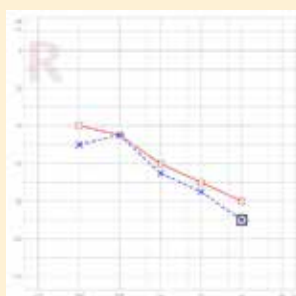
ここまでは初めに1回だけでOKです

ここからはお客様ごとに行います

③Xのデモ器を両耳7Xで用意し、「01_X試験Tシステム」を呼び出します。



④オーディオにお客様の聴力を入れます。



⑤ノアリンクワイヤレスでデモ器を接続

Noahlinkワイヤレス



⑥「現在の調整を保存しますか」は「いいえ」



⑦「画面のデータを書きこむ」>
「OK」



※書き込むが表示されない場合は、Tシステムデータがデモ器と合っていない。③に戻ってデモ器と同じTシステムデータを選び直してください。

⑧左上ファーストフィット>
耳せんはクリックスリーブ穴なし
がおすすめです。



小穴が1つ



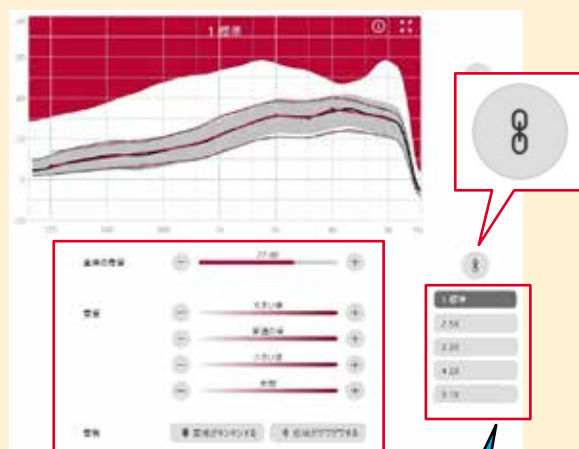
⑨計算式はX Fitの標準100%



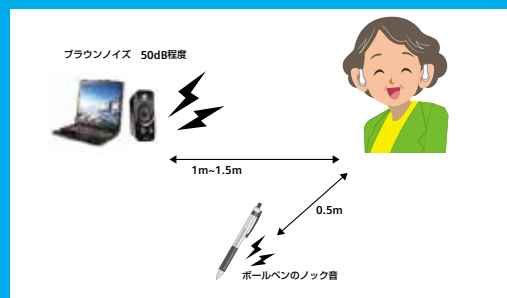
⑩特性のみファーストフィット
⑪「実行する」は下をクリック



⑫基本調整で縦チェーンをつなげます
⑬通常通り調整します



⑭標準（7X）～1Xまで、プログラム切り替えて疑似的にクラス比較の試聴ができます。⇒次のページ



⑮Connexxを終了するときは「現在の調整を保存しますか」は
「いいえ」



1 Tシステム デモの方法

プログラム切り替えだけで7X～1Xのクラスの違いを手早く疑似体験していただくものです。

機材：Tシステムデータ、デモ器、ボールペン

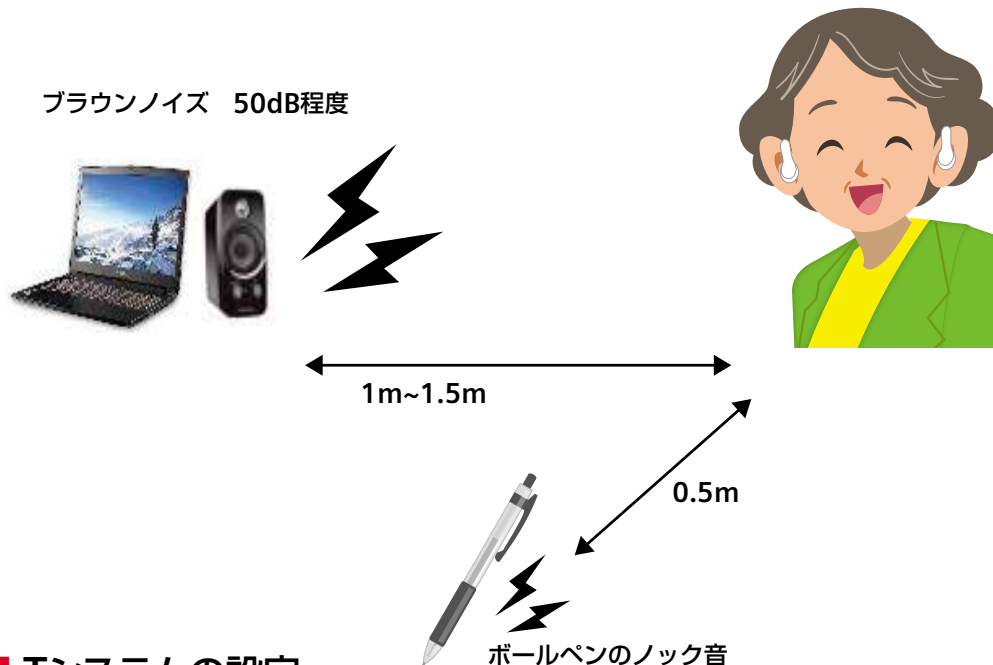
Tシステム デモの方法

コツ：試聴器のドーム（耳せん）は外耳道にしっかり入れます。ゆるみやスキマがあると音の違いがわからずデモがうまく行きません。

前から：ブラウンノイズを50dBぐらいの抑えめの音量で流します。（Tシステムデータに入っています。エアコンや空気清浄機の動作音があればブラウンノイズは省略しても結構です。）

グッツ：ボールペン（カチャカチャとノック音で突発音を試聴）

トーク：クラスを上げるとザーザー音やカチャカチャ音がぐっと静かになりますね。マスクでこもった声もスッキリ聞こえますね。今までは難しかったんですよ。



Tシステムの設定

プログラム	疑似クラス	聞こえの違い	上のクラスほど ストレスなく 楽に使えます
P1	7X	一番静かです。声がすっきりします	
P2	5X	ますます静かになります	
P3	3X	更に静かになります	
P4	2X	雑音とボールペンが静かになります	
P5	1X		

ヒント

レシーバーと適応聴力

S:～60dB

M:～75dB

P:～90dB

Tシステムのヒント

■ ヒント1：Tシステム便利シート（Tシステムデータに入っています）

Tシステムの試聴手順のダイジェスト版です。コピーしてPCに貼ってご使用ください

Connexx用

T-システム（Xデモ器でランクアップ試聴） Connexx版	
①	ドームはしっかり耳に入れる
②	「01_X試聴Tシステム」を呼び出す ⇒ オーディオグラムを入力
③	Noahlinkワイヤレス 7Xデモ器を両耳接続 ⇒ 「保存しますか」は「いいえ」
④	「補聴器に画面のデータを書き込む」
⑤	左上「ファーストフィット」⇒ ドームは知-ス"クリックリ-ア"が推奨
⑥	右下「計算式」⇒ X Fit 標準100%を選択 ⇒ 特性のみファーストフィットする
⑦	下の「実行する」を選択
⑧	左上「基本調整」⇒ 縦リンクをつなげて、通常通り調整
⑨	プログラムで 標準（7X）～ 1X を試聴。ボールペンやノイズを使う
⑩	終了時は「調整を保存しますか？」は「いいえ」を選択

Noah用

T-システム（Xデモ器でランクアップ試聴） Noah版	
①	ドームはしっかり耳に入れる
②	「01_X試聴Tシステム」呼び出す ⇒ 上  オーディオ入力、保存
③	右「セッション」で  ABC を起動 ⇒ 「より新しいオーディオ」はOK
④	デモ器を接続⇒ 「いいえ」⇒ 「補聴器に画面のデータを書き込む」
⑤	左上「ファーストフィット」⇒ ドームは知-ス"クリックリ-ア"が推奨
⑥	右下「計算式」⇒ X Fit 標準100%を選択 ⇒ 特性のみファーストフィットする
⑦	下の「実行する」を選択
⑧	左上「基本調整」⇒ 縦リンクをつなげて、通常通り調整
⑨	プログラムで 標準（7X）～ 1X を試聴。ボールペンやノイズを使う
⑩	終了時は「調整を保存しますか？」は「いいえ」を選択

■ ヒント2：Tシステムのプログラムが消えてしまったら

Tシステムのプログラムが消えてしまった場合

- ・プログラムが5つない
- ・設定がおかしくなった



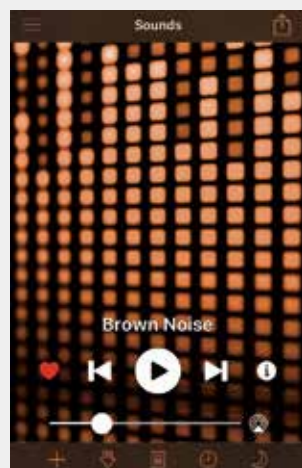
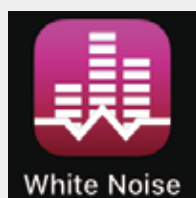
Connexx左上のこれをクリック

開いたウィンドウの2020/6/26をクリック>呼び出す
「保存しますか」は「いいえ」

■ ヒント3：手軽にノイズを出すには

ブラウンノイズはスマホやiPadからも出せます。どこでも簡単にノイズが出せます。

Webで“white noise”を検索、ダウンロード（無料）。この中にブラウンノイズがあります。
音量は左から 1 / 4 ぐらいが適当です。



2 シグニアアプリでデモ 準備の手順

デモ：シグニアアプリを使って7X~1Xのクラスの違いを十分にご納得していただくものです。

用意：スマホやiPad、Xのデモ器

手順：デモ器の準備→スマホと接続(初めに1回だけ)→アプリと接続(初めに1回だけ)→デモ

図はiPhoneの例です。

※ここはお客様ごとに行います

①Connexxでデモ器を両耳7Xにします。お客様の聴力でX Fit(100%)します。

	Pure 312 7X	Pure 312 5X	Pure 312 3X
ディフュージョン	40 / 20	32 / 16	24 / 12
Dynamic Soundstage Pro...	★★★★★	★★★★★	★★★★★
DSP™ (Deep Noise Process...	★★★★★	★★★★★	★★★★★
Sound Clarity	★★★★★	★★★★★	★★★★★
音場広げ	★★★★★	★★★★★	★★★★★
ユーザーエクスペリエンス	★★★★★	★★★★★	★★★★★

②左下の「取り外し」をクリックして「接続」にします。これでデモ器がスマホに接続できるようになります。



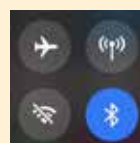
お客様2人目以降は⑬に進みます。

※ここは初めに1回だけ行います

③お持ちのiPhone、iPad、Androidスマホ等にシグニアアプリをダウンロードします。



④コントロールセンターを表示して(iPhoneの機種によってちがう) Bluetoothアイコンをタップします。BTがオンになります。



⑤[設定]>[アクセシビリティ]をタップ



⑥デモ器の電源をオンにして電源オンのメロディが流れます。



⑦[ヒヤリングデバイス]または[MFI補聴器]をタップしてデモ器を検出します



⑧スマホにデモ器の名前が表示されます。



注1:名前が表示されない場合は前画面⑦に戻って⑥デモ器の電源を入れ直して再検出してください。
注2:別の名前が表示された場合は右矢印>で次の画面⑨に進み「このデバイスのペアリングを解除」して⑦からやり直してください。

⑨デモ器名が正しく表示されたら「ペアリング」をタップします。両耳なら2回表示されます。これで完了です。ウィンドウを閉じます。



Bluetoothペアリングの要求

“01_シ...の補聴器”がお使いのiPhoneへのペアリングを求めています。

戻る

ペアリング

⑩シグニアアプリを立ち上げます



⑪Bluetoothをタップします。自動で進んで接続します。



⑫これで準備は完了です。次ページのデモに進みます。



これ以降はファーストフィットし直しても、デモ器とスマホの電源を入れなくても自動で再接続されます。万一再接続されない場合は③～⑫をやり直してください。

ここまでは初めに1回だけでOKです

※ここはお客様ごとに行います。お客様2人目以降は②からここに飛びます。

⑬指向性画面にします

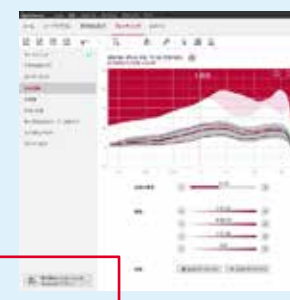


標準(7X)~1Xまで、指向性切り替えでクラス比較ができます。
⇒次のページ

⑭デモが終わったら“自動”をタップして自動指向性モードに戻します。



⑮Connexx調整に戻る時は左下の「接続」をクリックして「取り外し」にします。デモ器は自動でスマホから離れてノアリンクワイヤレスに接続され調整できます。



ヒント

- ・別のデモ器をペアリングするには…
 - ・スマホとペアリングが切れたら…
- 確実に接続するために③～⑫をやり直してください。
- ・デモ器のクラスを替えてもペアリングは切れません。そのまま別クラスをシグニアアプリでデモ／操作できます。
 - ・②でデモ器がConnexxから外れてスマホに接続できるようになります。ノアリンクワイヤレスはスマホより優先接続だからです。デモが終わってConnexx調整に戻る時は「接続」をクリックします。デモ器は自動でノアリンクワイヤレスに接続されます。

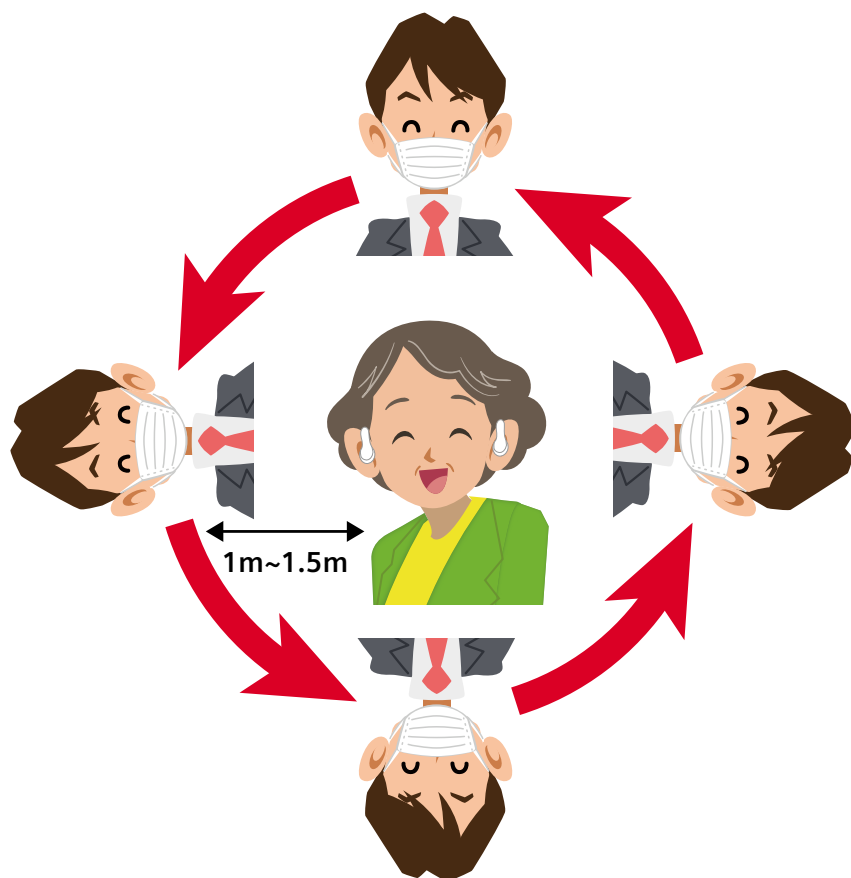
2 シグニアアプリ デモの方法

シグニアアプリを使って7X~1Xのクラスの違いを十分に納得していただけます。

機材：スマホやiPad、デモ器

画面をタップして指向性の形を変えながらクラスの説明をします。

販売スタッフは赤色と灰色の場所に動いて話しかけます。



指向性の範囲と説明

1Xです。
周りの音がいろいろ聞こえますね。



2Xです。
静かになりますね。
疲れにくくなります。



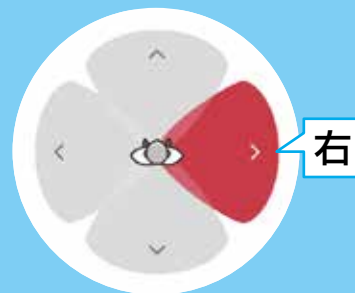
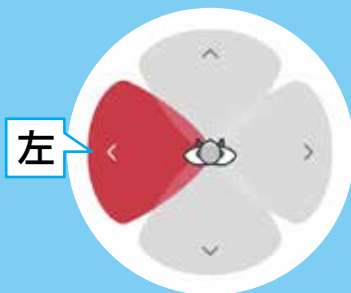
3Xです。
さらに静かになります。疲れず話に
集中できます。レストランやセミナーに。



5Xです。
騒がしくても後ろもよく聞こえます。
車で送迎、集まりにいいですよ。



7Xです。
左右も聞こえます。車やバス、公園のベンチにはこれです。



コラム：こもった声にも使いやすいX

マスクをするとマスクは吸音材として働きます。

図1はピンクノイズを65dB SPLで出しながらマスクあり／なしでダミーヘッドで録音したものです。マスクをすると2kHz~4kHzは約4dB、4kHz以上は約7dB減衰するのが分かります。

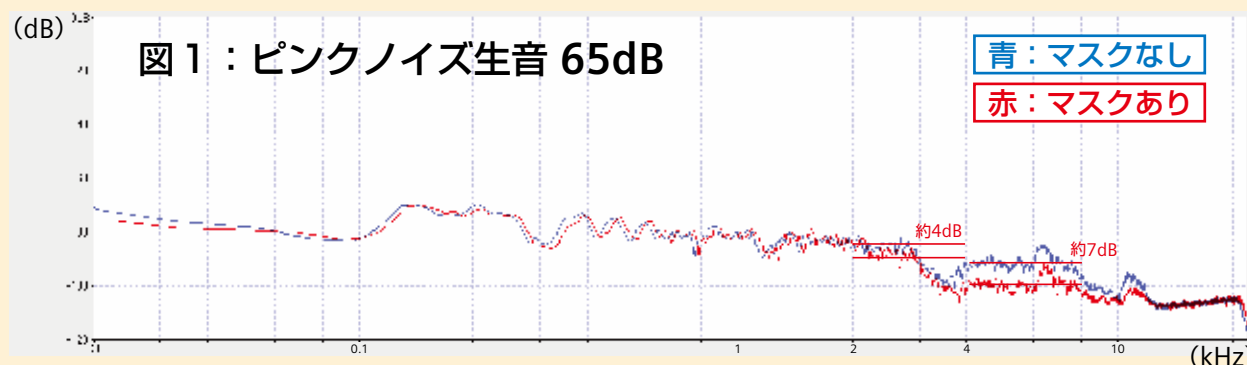
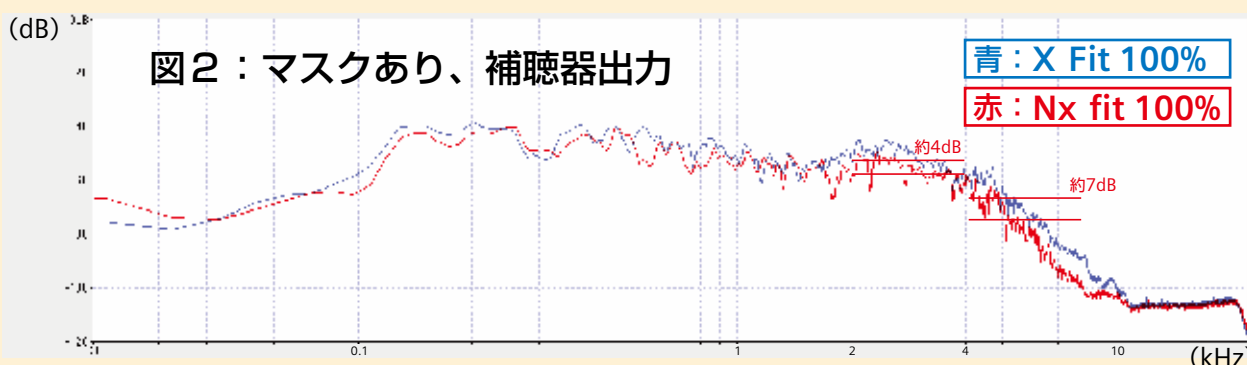


図2はマスクありの同じノイズを、補聴器を通して録音したものです。XはNxに比べて2kHz~4kHzが約4dB、4kHz以上は約7dB大きく、マスクの減衰分をファーストフィットで補完していることが分かります。（聴力50dBフラットの例）



➡ Xはファーストフィットだけでマスク越しの声に対応します。改めて調整する手間がいりません。（Xがマスク越しの声でも聞きやすい要因の一つです。）

ヒント

- 1) 明瞭度測定と音量感：X fitはNxよりもややリニアな設定になります。そのためXは全体の利得を下げると小入力も下がるので明瞭度測定に不利になります。Xで音量感を下げる場合は基本調整で大きい音と普通の音を1クリック下げるのがおすすめです。

Xの音量感を下げるときは、大きい音と普通の音を1クリック下げます。



- 2) XとNxの音質：Nxの高域の利得をXに近づけても、NxにはXセンサーがないのでXと同じ音にはなりません。

シグニア補聴器 〒242-0007 神奈川県大和市中央林間7-10-1 三機大和ビル 6F

■ 販売店様専用問合せ窓口 カスタマーサービス

Tel:0800-222-4133 Fax:0800-888-4133
Tel:046-409-4133 Fax:046-407-1133

販促物注文専用Fax/050-3730-5795

※本フリーコールはIP電話からはつながりません。その場合は通常の電話番号までお問い合わせください

■ シグニア補聴器 公式SNSアカウント



YouTube
シグニアTV



■ 個人のお客様向けメールマガジン



シグニア
メルマガ

www.signia.jp/newsletter



■ 販売店様向けメールマガジン



シグニア
ニュースレター

www.signia-pro.jp/newsletter/



聞こえの詳細な検査は、耳鼻科専門医を受診してください。補聴器は適切なフィッティング調整により、その効果が発揮されます。しかし、装用者の聞こえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。このガイドと実際の製品の色・形状は、印刷等の関係で異なる場合があります。

製造販売元：WS オーディオロジージャパン株式会社 医療機器製造販売業許可番号 14B2X00018

このガイドの内容は2021年2月時点のものです。価格や仕様は予告なく変更されることがあります。21.02.JP.17001293

